

## 一般質問

編集／大町町議会  
大町町企画政策課

災害時の被災者等支援対応、並びに水害対策について

諸石 重信

**議員** ①災害時の被災者支援に関して、大町町、大町町社会福祉協議会、CSO連携室を核として体制を構築しているが、その連携システム並びに災害発生時の具体的機能を説明してください。

②今年6月より気象庁は線状降水帯の発生に関し、産学官連携による集中観測及びスーパーコンピューターの活用により発生予測を行い、半日前からの情報提供を行うこととしています。

この予測情報を避難対応

及び治水対策に具体的にどのように活用していくのでしょうか。

**総務課長** ①CSO連携体制では、被災者支援のために大町町、大町町社会福祉協議会、CSO連携室の各機関が定期的な会議の中でそれぞれの持つ情報を共有し、協働、連携の強化を図ってきました。

具体的内容として、町は

主に避難所運営、罹災証明書発行、被災者生活再建支援申請受付等。社協は、災害ボランティアセンターの開設と派遣調整、CSO連携室では特に災害ボランティアセンターと密に情報を共有しながら、支援交流拠点において被災者ニーズに即した物資の提供や炊き出し支援等を行いました。



▲CSO等連携会議

②線状降水帯予測に関しては先日、佐賀地方気象台から説明を受けたところであり、現段階での正確な予測は難しいが、情報が出されたら危機感を高めてもらい災害に備えて欲しいとのことでした。

町では線状降水帯の発生予測の有無にかかわらず、大雨の予測等があれば、避難所開設の手順や水防体制の確認等を行い、災害に備えたいと思います。

また、町民に対しては、防災行政無線などを通じて災害への注意喚起や早めの避難を呼びかけ、初動対応の迅速化を図っていきます。

### 教育行政及び学校教育について

**議員** ①コロナ禍における

様々な制約が求められる一方で、コロナとの共存やポストコロナが語られる中、コミュニティ・スクールの対応や取り組みは今後どのように進めていくのですか。

②近年、教職員は学習指導のみならず、以前にも増

して児童・生徒の抱える問題や家庭環境の問題等にも対応され、業務も多岐にわたり負担も大きいと推察します。

そこで、児童・生徒や家庭に関するスクールソーシャルワーカーの役割とその実績を含めた効果、また今後の検討事項について尋ねます。

③新小学校学習指導要領改訂による外国語活動、外国語科について、ひじり学園ではどのような対応が行われているのでしょうか。

④ひじり学園においては、電子黒板や生徒1人1台のタブレットの整備によりICT教育(情報通信技術を用いた教育)の基盤が整ったわけですが、GIGAスクール構想においては、キャリア教育、またソサエティ5.0(第5社会)を見据え、このICTを授業等に実際にどのように活用していくのが焦点と考えます。これに関する今後の取り組みについて尋ねます。